


## 3時限目：JSをコントロール

 先生、おはようございます。JSって書いてますね。


みなさん、おはようございます。そうですね、ちょっとタイトルが長すぎるもので。。

きょうは、JavaScriptをコントロールしてみましよう。

---

### 1. onclick属性

なにかをコントロールしたいのだけど、なにでコントロールしましょうか？

 マウスとか、指でタッチとか、それからボタンとか・・・

はい。きょうはボタンを使いましょう。次の行をp要素の上に書き足してください。

```
<p><button onclick="btn1();">押す</button></p>
```

 ボタンて綴はブットンなんですね。それからonclick属性がありますね。

はい、onclick属性はクリックしたら"～"をさせるものです。ここではbtn1()というプログラムを実行させようとしています。

---


### 2. 関数

例えば、先生がみなさんに「クッキー」を作ってもらいたいとします。

その時、先生は、

- 1.バター、粉糖、全卵、薄力粉、塩を用意する
- 2.バターと卵を混ぜて生地を作る
- 3.薄力粉を混ぜる
- 4.冷蔵庫にしばらく入れる
- 5.生地を伸ばして冷蔵庫
- 6.型取りしてオーブンで焼く

なんて言いませんよね。

 (えらく詳しい…) ええ、「クッキーを作って」でOKです。

そうですね。作り方はいろいろな作業が集まったもの、それをひとまとめにして「クッキーを作って」です。そのほうが言いやすいですし簡単です。

これをプログラムで考えてみましょう。プログラムの複数ある作業ひとつにまとめて名前をつけることを「関数( function )」と言います。

作り方の部分は次のように書きます。これを関数の定義と言います。


```
function 関数名(){  
    処理の内容1;  
    処理の内容2;  
    処理の内容3;  
}
```

レシピだけではクッキーはできませんね。作ってとお願いしなければなりません。関数では次のように書きます。これを関数の実行と言います。

### 3. 関数名();

ここで、onclick属性ではbtn1();と書いていましたね。あれがまさに関数の実行です。であれば、関数の定義は「書き変えること」ですから、全体は次のようになります。

```
<p><button onclick="btn1();">押す</button></p>  
<p id="output1">おはようございます。</p>  
  
<script>  
    const output1 = document.getElementById("output1");  
  
    function btn1(){  
        output1.innerHTML = "こんにちは。";  
    }  
</script>
```

 先生できました！

これで私達は、JavaScriptをコントロールできるようになりました。

onclick属性はbutton要素に限らず、divでも画像でも様々な要素でも動作しますから、試してみてください。